

JB Customer Report

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

お客様の
ご紹介

神社庁様

岐阜県神社庁は、各都道府県の民間機関として岐阜県内の約3220の神社・各市町村の27支部の管理や、お祭り・お知らせの通知、催し物の案内を行っています。



インクジェットの常識を覆すプリンター

神社庁内で印刷するものは内部資料から案内など多岐に渡りますが、災害時などで緊急性のあるお知らせなども多く迅速な対応が求められたり、お祭りの時期は職員全員が出払ってしまうため、お祭りのない1ヶ月間に事務仕事や印刷作業などを行わずにはならず、非常に苦労している状況が続いていました。また、少ない人員で資料を作成・印刷し、郵送しているため、以前使っていたプリンターのスピードではどうしても時間がかかってしまい、残業を余儀なくされる事も多々ありました。

そんな時に紹介されたのが、LX-10000Fです。まず驚いたのは印刷スピードですね。インクジェットプリンター＝家庭用というイメージが強かったのですが、1分間に100枚のスピードという印刷機に匹敵する速さで、これなら職員の負担を減らす事ができる！と確信し導入を決め、現在では神社庁のメインプリンターとして大活躍しています。非常にレスポンスの早い機械なので、印刷物を集約する事ができ、気付いたら神社庁内全体の7割の印刷をLX-10000Fで印刷しています。限られた期間で事務仕事のうちの印刷に取られる時間が大幅に軽減され、LX1台で1人分の働きをしているのでは？と錯覚してしまうほどです。また、インクの持ちが良いことも気に入っていますね。印刷が集中してもインク切れが少なく、以前は用途に合わせて4台の印刷機器を使い分けていたので、消耗品の管理が煩雑でありましたが、今では非常に楽になり助かっています。私達の働き方改革を実現させたLXは最強のマシンですね！

連日連夜の稼働もお任せ

出勤したらまずパソコンと印刷機器の電源を入れる事から一日の仕事が始まります。パソコンは割とすぐ立ち上るため仕事に取りかかる事ができますが、特に寒い時期のコピー機はウェイクアップの時間が非常に長く、長丁場の戦いを強いられていました。朝の忙しい時間に印刷したいけど出来ないジレンマがあり、何度も動作準備の完了をしにいくことがしばしばありました。しかし、レーザー方式の1/8の消費電力のLX-10000Fはウェイクアップが非常に速いことを聞き、「朝の起動時間が短縮できる！」と職員全員で喜び合った事を覚えています。待機電力が環境に配慮作られているので、罪悪感を持つ事なく電源を入れたまま帰る事ができます。そのおかげで朝の仕事が劇的に変化しました。

また、このスタンバイ状態を維持できる事は、会議資料の作成にも大活躍です。会議資料は多い時で20～30Pものを100部刷りますが、今までは印刷音の大きい印刷機器は事務所に置けないので、別室で夏は大汗をかき、冬はかじかむ手を温めながら印刷物を汚さないように作業しながらかつ、印刷されたものを丁合機で仕上げていましたが、現在では印刷指示を夜の内にかけるだけで大量の印刷が完了した状態で翌朝を迎えています。圧倒的な印刷スピードと、昼も夜も切れ目なく印刷ができ、そして紙詰まりが少ないLXだからこそできる技ですね！



働き方改革の成功体験

今後挑戦してみたい印刷は、封筒印刷です。現在はタックシールに宛名を印刷し、封筒に貼ってお知らせの郵送を行っています。LX-10000Fは幅広い用紙にも対応していると聞き、どうしても紙詰まりのリスクを考えてしまって手が出せていなかった厚みのある封筒でも安定して印刷が行えるのでは？と考えるようになりました。封筒に直接宛名を印刷する事ができれば、シールを貼る作業がなくなるので、作業分の時間を生み出す事ができます。熱を使わない印刷方式の為、シール印刷が問題なく出来る事はもちろん嬉しいですが、何より職員達が労務時間短縮の成功体験を積み、より楽で簡単な業務に改善できるように探る事は今では私達の楽しみの一つになっていますね。

営業担当者の声

カラーコピー機の入替の為、神社庁様の印刷環境の再確認とその他問題を洗い出し、LX10000Fなら、コスト面、効率面で課題解決に繋がる事を自信を持って勧める事が出来ました。



営業担当：赤星 実

まだ発売されて新しい機種ですが、今後、より良い機能を持って新機種が発売されると思います。常にお客様と共に新しい価値を創造し進化してまいります。